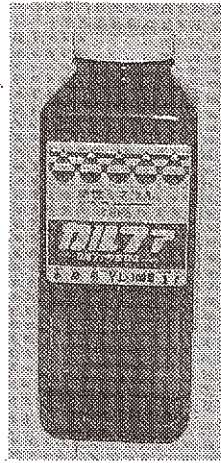


# 魚臭防御の消臭剤

## カルファV L-100 S 販売

カルファケミカル㈱

魚臭成分の分解効果と魚の鮮度保持効果を兼ね備えた新しい消臭液が水産関係者の注目を集めている。バイオ関連製品のベンチャー企業、カルファケミカル㈱が開発した「カルファV L-100 S」は鉄、カルシウム、ナトリウ



カルファV L-100 S

ムなどの化合物を組み合わせて作った水溶液で、溶液中の金属イオンがトリメチルアミ

ン、アンモニアといった魚臭成分を分解する仕組みである。大手スーパーがこのほど採用を決めたのをはじめ、水産物の流通業者、加工業に利用が広がっている。

魚臭は、魚肉タンパク質の分解過程で発生するトリメチルアミン、アンモニア、メチルメルカプタンなどが原因で、消臭には活性炭などによる物理的吸着、芳香性においてによるマスキングなどの方法が取られていたが、十分な効果は上がっていなかった。カルファV L-100 Sは無色無臭の液体で、成分中の金属イオンのうちでもとくにイオン化傾向の高い二価の鉄イオンが魚臭成分を分解し、発生も抑制する。トリメチルアミンなどの魚臭成分は魚の鮮度と密接なかわりがあるため、この発生を抑えるこの消臭液には鮮度保持効果もあるという。スーパーが行ったエビを使った比較実験では、未処理のエビを室温で二十四時間放置したところ、十尾中三尾に黒変が見られたのに対し、処理したエビは黒変しなかった。

同品は水産加工施設の消臭や魚の消臭・鮮度保持に使うのが一般的だが、生きた魚が体外に排出する老廃物も分解するため、活魚輸送への利用も増えているという。

使用方法は、原液を水か塩水で希釈し、液中に魚を浸漬するか、希釈液を散布する。希釈倍率は魚臭処理用が一干

倍、鮮度保持用が三千―五千倍、活魚輸送用が一万倍。  
見中央二一九一六、〇〇四  
▽問い合わせ先・カルファ 五五〇四―一二〇代